

【注意点1】



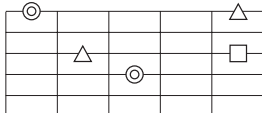
3つの音で構成された
ポジションを頭に入れよう!

まずは、スキッピングでよく使われるポジションを確認しよう(図1)。このメイン・フレーズは、ルート、3rd、5thの3音=トライアドによって構成されているが、筆者は“小指が同じフレットに弦跳びするのがメジャー・トライアド”“人差し指が同じフレットに弦跳びするのがマイナー・トライアド”と覚えている。ぜひ参考にしてほしい。

図1 スキッピングの頻出ポジション (トライアド)

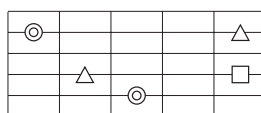
メジャー・トライアド

・4弦ルート (メイン・フレーズ2&3小節目)



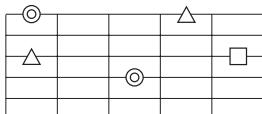
◎ルート音 △3rd音 □5th音

・5弦ルート

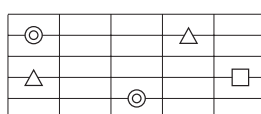


マイナー・トライアド

・4弦ルート (メイン・フレーズ1&4小節目)



・5弦ルート



【注意点2】

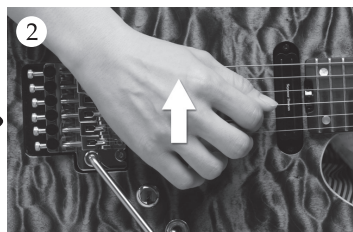


右手のフォームは
一定に保つべし!

スキッピングは、基本的に右手のフォームを一定に保ちながらピッキングしよう(写真①&②)。手首のスナップを利かせると(写真③&④)、移動した弦上のフレーズを素早く弾くことができないので気をつけてほしい。また、弦跳びに気を取られ過ぎるあまり、無理なフォームでピッキングし続けられないように注意しよう。



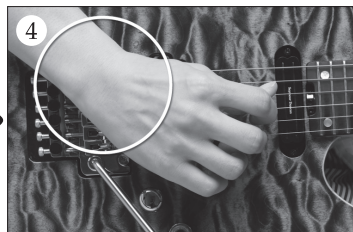
1弦をピッキングする時点で、3弦を狙っておこう。



1弦をピッキングしたフォームのまま3弦に移動する。



1弦をピッキングしたあとに……。



手首を返して、3弦を弾くのは注意!

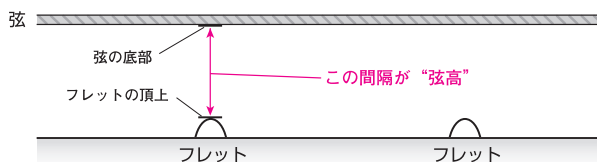
～コラム14～

地獄の戯れ言

読者諸君は、弦高調整をしたことがあるのだろうか?“弦高”とは、一般的に12フレット上での“弦の底部”と“フレットの頂上部”の距離を指す(図2)。基本的には1.8~2.0mmにするが、正しく調整することによって、ギターはかなり弾きやすくなる。まだ調整をしたことがない人は、ぜひ一度弦高を確認してほしい。

弾きやすさが大きく変わる!?
ギターの弦高を適切に調整せよ!

図2 弦高について



一般的には12フレット上で測定し、基本的には1.8~2.0mmにする。

【トライアド】 ルートの上部に3rdと5thを重ねた三和音のこと。メジャー、マイナー、オーギュメント、ディミニッシュという4種類があるが、まずはメジャーとマイナーを覚えるとよい。